

～ 水素社会実現に向けた日本・世界各国の取組を横浜から発信 ～ 「IPHE 横浜フォーラム 水素社会の実現に向けて」参加者募集

横浜市及び NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）は、日本及び世界各国の有識者を横浜にお招きし、水素・燃料電池に関する政策や取組を発表する一般公開イベント「IPHE 横浜フォーラム 水素社会の実現に向けて」を開催します。

各国の政策や、民間レベルでの取組も紹介し、官民をあげた水素社会実現のための取組を横浜から日本へ、日本から世界に向けて発信します。

「IPHE 横浜フォーラム 水素社会の実現に向けて」の概要

- 1 主催 NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- 2 共催 横浜市
- 3 開催日時 平成30年5月8日(火) 13時30分～17時10分（13時受付開始）
- 4 会場 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル（ボールルーム）
＜横浜市西区みなとみらい1丁目1-1＞
- 5 内容
 - ・挨拶（IPHE 議長 Bernard Frois、横浜市副市長 小林 一美 ほか）
 - ・講演（各国、民間企業、横浜市等の政策・取組発表）
 - ・展示（民間企業等の技術・取組紹介）※講演、展示内容の詳細は、「別紙」を参照してください。
- 6 参加申込 ご来場を希望される方は、以下の HP より事前にお申し込みください。
URL : <http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/plan/ipheyokohama.html>
 - ・参加費：無料
 - ・定員：180名（4月17日（火）締切。また、定員になり次第、締め切らせていただきます。）
 - ・HP よりお申し込みができない方は、温暖化対策統括本部 IPHE 横浜フォーラム担当まで、電話(045-671-2623)にてお問い合わせください。

7 会場アクセス みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩 5分
 JR 京浜東北線「桜木町駅」徒歩 15分



【参考】

- ・「IPHE 横浜フォーラム」は、水素・燃料電池に関わる各国の政策立案組織が参加する国際協力枠組みである『国際水素・燃料電池パートナーシップ※¹』の第 29 回運営委員会が日本で行われる※² ことにあわせて、開催されるものです。

※1 国際水素・燃料電池パートナーシップ（IPHE : International Partnership for Hydrogen and Fuel Cells in the Economy）は、水素・燃料電池に係る技術開発、基準・標準化、政策情報交換等を促進するための国際協力枠組みの構築を目指して、平成 15 年に結成されました。日本、米国、ドイツ、中国など各国の水素・燃料電池に関わる政策立案組織が参加しています。（平成 30 年 1 月 6 日時点で 18 か国 1 地域）

※2 第 29 回運営委員会は、5 月 11 日（金）に兵庫県神戸市で開催されます。

また、福島県郡山市においても、5 月 9 日（水）に「IPHE 郡山ワークショップ CO2 フリー水素のサプライチェーン構築に向けて」が開催されます。

詳細は、NEDO の HP (http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100933.html) を参照してください。

（当日取材を希望される場合は、直接会場にお越しくください。）

お問合せ先

温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長 山形 珠実 Tel 045-671-2336

「IPHE 横浜フォーラム 水素社会の実現に向けて」

日時：平成30年5月8日（火）13:30～17:10（開場：13:00）
場所：横浜 グランド インターコンチネンタル ホテル ボールルーム
（横浜市西区みなとみらい1丁目1-1）

1 概要

2017年12月26日に公開された『水素基本戦略』（再生可能エネルギー・水素等関係閣僚会議）では、2050年を視野に入れた水素社会実現に向けて将来目指すべき姿や目標として官民が共有すべき方向性・ビジョンが示されており、IEA（国際エネルギー機関）やIPHE等の国際的な枠組みを活用し、日本の取組をモデルとして積極的に発信するとともに、連携や共同研究等を進めるとされています。

このような状況の下、今回は、米国、ドイツ、欧州委員会および中国といった世界各国の有識者が水素・燃料電池政策を概説し、世界全体の取組、及び今後の課題を議論します。

また、各国の取組に加えて、民間レベルでの取組も紹介し、官民あげた水素社会実現のための取組を、横浜から日本へ、日本から世界に向けて発信します。

2 講演スケジュール（予定）

13:00

開場・受付開始

13:30

挨拶：IPHE 議長 Bernard Frois 様（フランス原子力・代替エネルギー庁）

13:35

主催者挨拶：NEDO（調整中）

横浜市歓迎挨拶：横浜市副市長 小林 一美

13:45

水素・燃料電池の利用拡大：世界の動き（各国の紹介）（計85分）

・経済産業省（調整中）

「水素社会実現に向けた日本の取組」（15分）

・米国エネルギー省 燃料電池技術局 ディレクター Sunita Satyapal 様

「H2@scale: Developments in Transportation and Across Sectors」（15分）

- ・ドイツ 交通・デジタルインフラ省 Birgitta Worringen 様
「Sector Coupling: Hydrogen's Increasing Role Across Sectors」(15分)
- ・欧州委員会 欧州燃料電池水素共同実施機構 Katarzyna Drabicka 様
「Hydrogen Projects:Energy, Transportation, and Industry Sectors」(15分)
- ・中国 武漢理工大学 教授 潘牧 様
「Hydrogen Mobility in China」(15分)
- ・質疑応答など (10分)

15:10

休憩 (15分)

15:25

日本における取組紹介 (横浜市及び産業界の動き) (計 100分)

- ・横浜市温暖化対策統括本部長 薬師寺 えり子
「横浜市の水素利活用の取組」(15分)
- ・JXTG エネルギー(株) (調整中)
「水素社会実現に向けた JXTG の取り組み」(15分)
- ・トヨタ自動車(株) 新事業企画部 エネルギー事業室 FC 外販グループ長
大田 育生 様
「水素社会の実現に向けた取組み」(15分)
- ・東京ガス(株) 燃料電池事業推進部 燃料電池企画グループ マネージャー
有沢 洋平 様
「家庭用燃料電池『エネファーム』の開発から商品化まで」(15分)
- ・千代田化工建設(株) 技術開発部 プロセス開発セクション セクションリーダー
三栗谷 智之 様
「有機ハイドライドを用いた水素サプライチェーンの構築」(15分)
- ・総括：横浜国立大学 名誉教授 太田 健一郎 様
「社会における水素の役割」(15分)
- ・質疑応答など (10分)

17:05

閉会挨拶：NEDO 新エネルギー部 燃料電池・水素グループ 主任研究員
原 大周 様

17:10

終了

※ 発表は日本語または英語で行います（日・英同時通訳あり）。

※ 都合により、発表者、発表内容が変更になる場合があります。

3 展示コーナー

フォーラムと同会場に、民間企業等の技術・取組紹介を行う展示コーナーを設置します。出展団体は、以下の通りです。

【出展団体一覧（五十音順）】

- ・ 英和(株)
- ・ (有)オービタルエンジニアリング
- ・ 神奈川県
- ・ (株)タツノ
- ・ 千代田化工建設(株)
- ・ 東京ガス(株)
- ・ 東横化学(株)
- ・ 日立オートモティブシステムズメジャメント(株)
- ・ (株)メタコン
- ・ 山梨県
- ・ 横浜市